

## 単元の目標と評価規準

単元名 水のすがたとゆくえ

### (1) 単元の目標

水が沸騰するときのようすに興味をもち、水を熱して水蒸気になることを調べたり、水面やしめったものから水が蒸発していること、空気中の水蒸気は水滴になって現れることや水は冷やされると氷になることなどを調べたりして、水のすがたの変化を温度と関係づけてとらえることができるようにする。

### (2) 単元の評価規準

	おおむね満足できる状況	十分満足できる状況
関 心 意 欲 態 度	水を沸騰させたときのようすに興味をもち、ゆげやあわの正体について、予想し、実験方法を考えている。 水のゆくえに興味をもち、進んでそのゆくえを予想し、実験方法を考えている。	水を沸騰させたときのようすに興味をもち、ゆげやあわの正体について、予想し、積極的に実験方法を考えている。 身近な経験や観察事実から進んで水のゆくえを予想し、積極的にそれを調べるための実験方法を考えている。
思 考	実験結果から、加熱したときの水のようすの変化を温度と関係づけて、説明することができる。 おおいをしない入れ物の水がなくなっている実験結果から、水は空気中に出ていっていることを説明することができる。 冷たいものに水滴がつくことや霧などの自然現象は、空気中の水蒸気が冷やされて水となって出てきたものであると説明することができる。	温度によって水がすがたを変えることを、実験結果や生活経験を例にしながら、具体的に説明することができる。 おおいをしない入れ物の水がなくなっている実験結果や日常生活での経験などから、水は空気中に出ていっていることを、具体的に説明することができる。 冷たいものに水滴がつくことや霧などの自然現象について、空気中の水蒸気が冷やされて水になることと関係づけて、具体的に説明することができる。
技 能 ・ 表 現	安全に注意しながら水の加熱実験を行うことができる。また、水が蒸発していくときのようすや水が沸騰するときの温度を記録することができる。 水を冷やしたときの变化と氷結するときの温度を正確に記録することができる。	実験装置を正しく組み立てて、安全に注意しながら加熱実験を行うことができる。また、水が蒸発していくときのようすや水が沸騰するときの温度を詳細に記録することができる。 実験装置を正しく組み立て、水を冷やしたときの水の変化のようすを詳細に記録し、氷結したときの温度を正確に測定することができる。
知 識 ・ 理 解	水は、加熱しつづけると沸騰して水蒸気になったり、水面や地面などしめっているものから蒸発して水蒸気になったりして、空気中にふくまれていくことを理解している。 空気中の水蒸気は、結露して再び水となって現れることがあることを理解している。 水は温度によって氷や水蒸気が変わることを理解している。	水は、加熱しつづけると沸騰して水蒸気になったり、水面や地面などしめっているものから蒸発して水蒸気になったりして、空気中にふくまれていくことを、自然の中の水の姿として理解している。 空気中の水蒸気は、結露して再び水となって現れることがあることを観察したことと関連させて理解している。 水はおよそ0℃で氷になり、およそ100℃で沸騰すること、温度によって氷や水蒸気が変わることを理解している。